

普通期米 栽培管理情報

1. 生育状況

本年の普通期米については、6月4日に梅雨入り（平年6月5日）し、7月8日（平年7月19日）に梅雨明けし、田植えは平年並みからやや遅く推移しました。6月中下旬の降雨により、ジャンボタニシによる食害が散見されますが、生育は概ね良好で茎数も確保できています。

今後は、出穂時期～成熟期を迎えるため、適切な管理を徹底しましょう。

病害虫については、イネカメムシ・ウンカ類の多発に注意してください。

2. 水管理

出穂7日前（オオバラの時期）から出穂7日後（穂揃い）までは可能な限り水を切らさないよう管理を行う。

出穂後は、間断灌水を実施し、水に余裕のある場合は、高温障害防止の為、水の余裕のあるところでは夜間に水の掛け流しを行い、地温を下げ品質向上に努める。間断灌水の際、乾かしすぎ（白乾状態）に注意し常に土が湿っている状態を維持すること。

また台風の接近等強風が予想される場合は、水分の蒸散、葉の裂傷を防ぐため、出来る限り深水を行う。充実向上の為、収穫まで水が必要となりますが雨が少ない為、地区で話し合い水の有効活用をお願いします。

3. 病害虫

いもち病	現在、葉に病斑が在る場合は、発生が懸念されるので注意が必要。 使用薬剤 ワイドナーエース粉剤 3～4kg/10a または、ブラシンフロアブル 1,000倍
ウンカ	発生は平年より多くなっております。 7/5 飛来のトビイロウンカ（秋ウンカ）に注意が必要です。 今年は、<u>圃場を確認して発生している圃場では</u>（8/11～8/18頃）に防除を行う！！ ※飼料米は、一般米と同じように必ず防除を行ってください。 ※WCSは、<u>必ず契約畜産農家に確認</u>してから防除を行ってください。 WCSは、<u>スタークル粉剤</u> 4kg/反（収穫7日前まで）のみ散布可能
カメムシ	本年は平年より多く発生しており、<u>必ず防除</u>してください。 ①<u>稲の出穂前に畦畔の草刈り</u>を行う。<u>その際、雑草の穂が出穂する前に草刈り</u>を行うことが重要。 ②イネカメムシの散布適期は<u>出穂期頃</u> 使用薬剤 キラップ粉剤 3～4kg/反または キラップフロアブル 1000倍 100L/反 又はエクシード粉剤 3kg/反または エクシードフロアブル 2000倍 100L/反

※農薬散布の際は、周辺作物等に飛散がないよう十分注意してください！！

※粒剤体系を使用する場合は水を溜め、防除適期の3日程前に施用して下さい。